

令和2年度 学校評価（自己点検）

達成されている:A 概ね達成されている:B 達成されていない:C

	評価項目	評価
教育目標	1 教育目標の実現に向けた学校の経営方針が明確になっている。	B
	2 教育目標や重点目標を全教職員が共通に理解している。	B
	3 私学として独自の校風や特色を持っている。	A
	4 教育活動の全般について、生徒や保護者の願いによく応えている。	A
教職員の 姿勢・意欲	5 意欲的に職務を遂行し、積極的に生徒と関わっている。	A
	6 指導力の向上に向けた取り組みがなされている。	B
	7 学校の課題を把握し、その課題解決に取り組んでいる。	B
組織運営	8 教育目標や重点目標を踏まえ、各分掌や学年における取り組みが 組織的・計画的に行われている。	B
	9 分掌間・学年間の連携がよく図られている。	B
	10 新たな課題解決のために、組織的・効率的な取り組みが行われている。	B
	11 本校の教育課題について、教職員で日常的によく話し合っている。	B
	12 各年度の教育計画の作成に当たって、教職員でよく話し合っている。	B
	13 教育活動全般にわたる評価・総括を行い、次年度の計画に活かしている。	B
教科指導	14 指導計画に基づいた学習が展開され、目標が達成されている。	B
	15 生徒にとってわかりやすく質の高い授業を実践している。	B
	16 各教科において、指導方法についての話し合いがよくなされている。指導方法の工夫・改善に向けた取り組みがなされている。	B
	17 各教科において、年間の学習指導計画について話し合いがなされている。	B
	18 各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選・工夫を行っている。	B
	19 思考力を重視した問題解決的な学習を行っている。	B
	20 学習意欲の高い生徒の学力が伸ばせるような学習指導の機会がよく設けられている。	B
	21 到達度の低い生徒に対する学習指導に、全校的課題として取り組んでいる。	B
生活指導	22 規律正しく、落ち着いた学校生活が営まれている。	A
	23 生徒の悩みや相談に真摯に応えている。	A
	24 教育相談体制が整備されており、生徒は様々な悩みを教員やスクールカウンセラーに相談することができる。	A
	25 生徒指導において、家庭と緊密な連携ができています。	A
	26 現在の校則が生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるか、生徒や教職員の間で話し合う機会がある。	B
	27 いじめや校内暴力など生徒の問題行動が起きたとき、組織的に対応できる体制が整っている。	B

進路指導	28	進路意識の育成に努めている。	B
	29	適切な情報に基づく進路選択を指導している。	B
	30	個々の生徒の進路目標を把握し、それに応じたきめ細やかな進路 指導がなされている。	B
	31	生徒が自らの適性に合ったキャリアデザイン(学び方・働き方・生き方の設計)ができるよう、各学年に応じて系統的な進路指導がなされている。	B
	32	生徒一人一人が興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かいアドバイスなどを行っている。	B
	33	生徒が生き生きと学ぶことができるよう、学級経営や特別活動の充実に学年・学校として取り組んでいる。	B
	34	海外に目をひらくことや次世代の世界を担う人物の育成に役立つような取り組みが行われている。	B
保 健	35	健康的な生活習慣の確立に努めている。	A
	36	生徒の疾病や事故に迅速・適切に対応している。	A
	37	校内外の美化や整理整頓に努めている。	A
特別活動	38	それぞれの活動の目標や内容が明確に示され、共通理解のもとで 円滑な運営が行われている。	B
	39	学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。	A
	40	生徒会活動において、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	A
	41	学校として、クラブ活動の活性化に努力している	A
	42	生徒の自主的・自発的な活動が展開されている。	B
広報活動	43	適切な広報活動が行われ、開かれた学校づくりが推進されている。	B
PTA活動	44	PTA活動の充実、保護者との連携に努めている。	A